

第13回建設業経理士検定試験 1級財務分析

〔第1問〕 解答にあたっては、指定した字数以内（句読点含む）で記入すること。

問1

	10	20	25
5	一般的に、付加価値とは、企業が新たに生み出した価値をいい、その計算方法には、控除法と加算法の2つがある。控除法とは、売上高から付加価値を構成しない項目（前給付費用）を控除して付加価値を計算する方法をい		
10	い、加算法とは、付加価値を構成する項目を加算して付加価値を計算する方法をいう。なお、控除法および加算法のいずれの方法であっても、減価償却費を含めて計算したものを「粗付加価値」といい、減価償却費を除いて計算したものを「純付加価値」という。		

問2

	10	20	25
5	付加価値を分子とする生産性についての基本指標としては、分母の生産諸要素として労働力と設備資本のいずれを用いるかにより、労働生産性と資本生産性の2つが挙げられる。労働生産性は、労働力の投入量として従業員数を分母として計算し、従業員1人当たりが生み出した付加価値を示す。また、資本生産性は、設備資本の投入量として設備投資額を分母として計算し、投下資本がどれだけの付加価値を生み出したかを示す。		

〔第2問〕

記号（ア～ネ）

1	2	3	4	5	6	7	8	9
ナ	ニ	ネ	ト	コ	チ	タ	ア	ソ

〔第3問〕

- (A) 百万円（百万円未満を切り捨て）
- (B) 百万円（同 上）
- (C) 百万円（同 上）
- (D) 百万円（同 上）

棚卸資産滞留月数 月 （小数点第3位を四捨五入し、第2位まで記入）

第13回建設業経理士検定試験 1級財務分析

〔第4問〕

- 問1

84,000

 千円（千円未満を切り捨て）
- 問2

198,000

 千円（同 上）
- 問3

17.50

 %（小数点第3位を四捨五入し、第2位まで記入）
- 問4

247,500

 千円（千円未満を切り捨て）

〔第5問〕

問1

- A 経営資本営業利益率

1.95

 %（小数点第3位を四捨五入し、第2位まで記入）
- B 総資本事業利益率

2.00

 %（同 上）
- C 完成工事高キャッシュ・フロー率

0.95

 %（同 上）
- D 当座比率

113.79

 %（同 上）
- E 立替工事高比率

29.20

 %（同 上）
- F 未成工事収支比率

132.05

 %（同 上）
- G 固定長期適合比率

77.40

 %（同 上）
- H 正味受取勘定回転率

4.92

 回（同 上）
- I 労働装備率

13,473

 千円（千円未満を切り捨て）
- J 付加価値率

25.11

 %（小数点第3位を四捨五入し、第2位まで記入）

別解：G 固定長期適合比率 30.94%

問2

記号（ア～ヤ）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
エ	ト	サ	コ	ニ	ム	ア	ス	ネ	タ